

問題解決実習 学校設備の改善案を提案しよう！①

<ねらい>

- ①自分たちで課題を発見・解決を提案する問題解決の力を育てる
- ②K J法、ブレインストーミングなど問題解決のための手法を考える
- ③自分たちの考えを、わかりやすく伝える発表を行う。
- ④発表を相互評価することで、評価する視点に慣れる。

<手 順>

実習1. 学校設備の課題を発見する（K J法）

- ①次のテーマごとに、過大なところを個人で1テーマ3つずつ付箋紙に書き出し、グループで相談しながら整理する。
- ②改善のための視点として次のテーマで課題を発見する。

1. バリアフリー（障害を持つ人にも優しい）
2. 安全（ここが危ない！）
3. 有効活用（このスペースもったいない）
4. 環境・省エネ（地球にやさしい学校づくり）
5. 表示（案内表示の改善提案）
6. 豊か（豊かな雰囲気づくり）

- ③グルーピングした画用紙をもとに、強みと弱みを発表しよう。

実習2. 実習1の発表をふまえた解決提案を考える

- ①課題であがった所についてフィールドワークを行い、解決提案をブレインストーミングで考える。提案は複数考え、のちに費用対効果も考えて絞っていくものとする。
- ②提案に説得力をもたせる根拠として、自分たちなりの課題の分析、生徒アンケート・取材・他校の例などを調べる。可能なら概算費用も調べるとさらによい。
- ③プレゼンテーションソフトなどを使い、これまでの調査結果をまとめる
スライドのイメージとしては： 1枚目：グループ名・メンバー
2・3枚目：課題・分析・裏付ける根拠
4・5枚目 解決提案・その根拠
- ④提案の示し方については、動画や模造紙など工夫してもらってよい

<発表・評価>

- ①発表について相互評価・教員評価を行う。（グループごと）
（観点は、発表の方法・内容・スライドの工夫 です。）
- ②グループ内の個人作業について、グループ内評価を行う。
（評価方法は：点数をグループ内で貢献順に配分する方法で行います）
- ③最後に自己評価・考察を行います。（各自で）

問題解決実習 学校設備の改善案を提案しよう!②

実習1 学校設備の課題を発見する(KJ法実習)

<ねらい>

問題や課題発見・分析のための手法であるKJ法を体験的に学び、同時に課題を発見する

※KJ法=データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し、まとめてゆく方法。「創造性開発」(または創造的問題解決)に効果がある。

<手順>

STEP1 個人で考える

1. 学校の設備の課題について、以下のテーマで課題をそれぞれ3つ以上あげてください。

1. バリアフリー (障害を持つ人にも優しい)
2. 安全 (ここが危ない!)
3. 有効活用 (このスペースもったいない)
4. 環境・省エネ (地球にやさしい学校づくり)
5. 表示 (案内表示の改善提案)
6. 豊か (豊かな雰囲気づくり)

2. 付箋用紙に、1で書いた強みと弱みをキーワードで1枚につき1つ書いてください

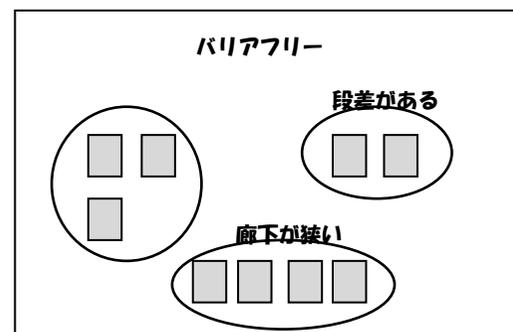
STEP2 グループで話し合う

1. 画用紙にそれぞれが書いた付箋を貼り付けてください

・テーマごとに画用紙の表裏を使ってください

2. 画用紙にはりつけたキーワードを見ながら似たような項目を集めて、グループ分けしてください。

<イメージ図>



- ①テーマごとに考える
- ②わからないキーワードがあれば書いた人に説明を求めてください。
- ③グループを区切る線、言葉の追加は画用紙に書き込んでください
- ④似たような項目に分類ができれば、

そこにタイトルをつけましょう。

STEP3 発表して共有しよう

1. 画用紙を見せながら、グループで出した内容・分類した結果を発表しましょう

- ①発表のときにはグループ全員が前に出ること
- ②発表の分担はグループごとにまかせます

<ワークシート>

グループで話し合った1テーマを選び・・・

1. グループの意見を簡単にまとめましょう

2. これに対する自分の意見を書いてください

3. ほかのグループの発表で参考になりそうなことをメモしましょう

4. 実習をやってみた感想を書いてください

高校2年 組 番 (名前)

問題解決実習 学校設備の改善案を提案しよう!③

実習2 課題の解決を提案する

<ねらい>

- ①ブレインストーミングの方法を体験的に学び、解決案を考える

※ブレインストーミング=集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法

- ②解決案に説得力を持たせるための工夫を考える
- ③解決案をわかりやすく発表する

<手順>

STEP1 ブレインストーミング

- 1. どの課題に対し、どのような解決提案をだすか、ブレインストーミングで意見を出し合いましょう

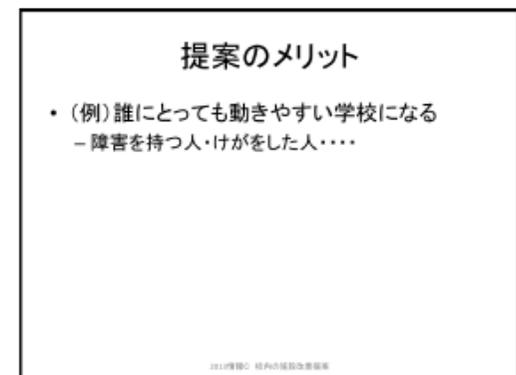
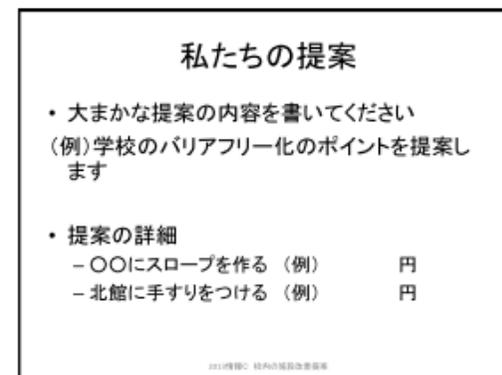
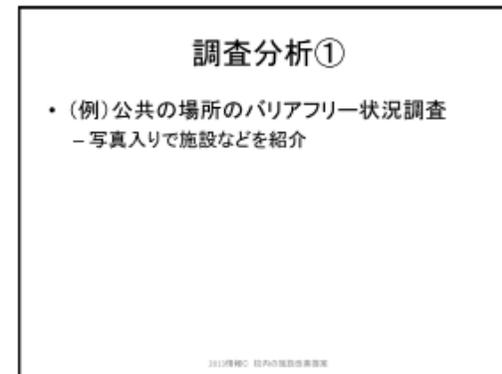
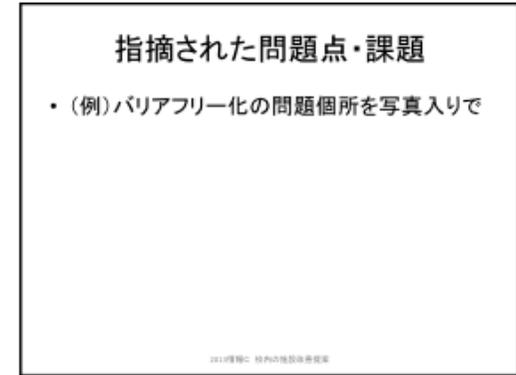
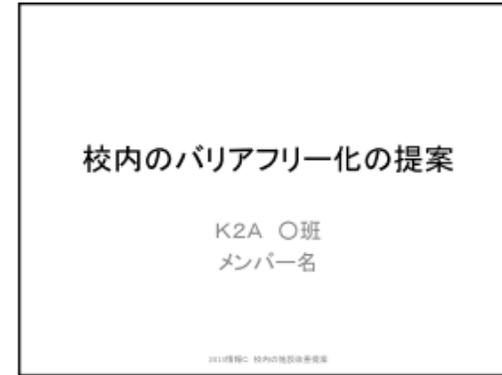
- ①課題と解決提案については、次のような発想で考えるといいです
 - マイナスをゼロにする提案 → 現行の課題を解決する提案
 - プラスにする提案 → 改善するだけでなく、創造的な提案
- ②ブレインストーミングで、とりあえず意見を自由に並べていきます。
 - ※今回は思いつくアイデアを付箋に書いて、話し合いで出た意見があれば、さらに付箋を追加して貼り付けましょう。そうすればアイデアがわかりやすいです。

ブレインストーミングのルール

1. 判断・結論を出さない(結論厳禁)
 - 自由なアイデア抽出を制限するような、判断・結論は慎む。
2. 粗野な考えを歓迎する(自由奔放)
 - 誰もが思いつきそうなアイデアよりも、ユニークで斬新なアイデアを重視。
3. 量を重視する(質より量)
 - 様々な角度から、多くのアイデアを出す。
4. アイディアを結合し発展させる(結合改善)
 - アイデアをくっつけたり一部を変化させたりすることで、新たなアイデアを

- ③ブレインストーミングで出てきた意見をもとにグループでだす提案をしぼる。

<スライドの内容サンプル>



問題解決実習 学校施設の改善案を提案しよう！④

実習4 発表・評価する

<ねらい>

- ①自分たちの考えを、わかりやすく伝える発表を行う。
- ②発表を相互評価することで、評価する視点に慣れる。

<手順>

- 1. グループとしての発表原稿を考えましょう（原稿は最後は提出してもらいます）
- 2. 発表のリハーサルをしましょう

<準備>

- 1. 自分のグループの提案のアピールポイント・工夫した点を書いてください・

--

- 2. 評価の準備を行う

- ①「高2」→「相互評価」→「プレゼン」で、自分の出席番号のファイルを開く。
- ②観点に沿って評価を行い、SABC（大文字半角）・コメントを記入する、
- ③すべての発表が終わったら、上書き保存して終了する。

<評価基準>

	評価項目	A	B	C
発表	① 声の大きさ・言葉づかい	よく	だいたい	もう一工夫
	② 目線	できている	できている	
デザイン	①スライドのデザイン	よく	だいたい	もう一工夫
	②視覚的に訴えているか	できている	できている	
内容	①ボリューム（量）	よく	だいたい	もう一工夫
	① オリジナリティ	できている	できている	
説得力	①論理的に話しているか	よく	だいたい	もう一工夫
	②説明と結論が一致	できている	できている	

※ 標準がB、いいものがAで、Aの中でとくにすばらしいものにS

自己評価シート

	A	B	C	自己評価
時間配分	時間を有効に使い、工夫を重ねた作品を作れた	決められた時間内で作品を完成させた	時間を無駄に使うことも多かった。	
制作態度	積極的に工夫し作品を完成させた	指示通りの作品を作ることができた。	なかなか手が動かず、作品制作に手間取った。	
コメント (苦勞した点・反省・次へ向けた工夫など)				

◎グループ内評価:持ち点10点を自分以外のグループ員に貢献度に応じて配分してください。

名前			
計10点			

<考察> 他の班の発表を聞いて、よかった人・高い点数をつけたページは、どのような工夫・方法をしていたか考えて書いてください。

--

 高校2年 組 番 (名前)

問題解決実習 学校施設の改善案を提案しよう！⑤

実習5 プレゼンを振り返る

<ねらい>

- ①自分たちのプレゼンテーションを映像で見て、客観的に分析を行う。
- ②他のグループのプレゼン・自グループの振り返りから改善点を書きだす。

<手 順>

- ①自分たちのプレゼンテーションを見て、よかったところ・課題なところを書きだそう。

よかった点	
課 題	

- ②相互評価・振り返りをふまえ、次に生かせる改善点を話し合い書きだそう！

企画・構成	
スライド	
発表	